

令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和7年 3月

学校法人郷原学園 西原幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・「こころ」思いやりのある子ども（思いやり）
- ・「笑顔」自ら挨拶のできる子ども（挨拶）
- ・「楽しむ」自らあそびを楽しむ子ども（主体性）
- ・「しあわせ」自分のことは自分でできる子ども（自律）

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本年度は、他園に見学・研修に行かせてもらったり、皆で目的を持って、ダンスを学びにいたり、20年ぶりに日本で開催される万博を訪ねたりしたことで、自園の良さを皆で考えて、深めていけるいい機会となった。

そして、2度目の取り組み「せんだんのきの日曜日」（日曜参観）も、研修で学んだこと、皆で身につけたことを発揮し、さまざまな分野で活躍される方にも幼稚園に来ていただき、子どもたちが本物に触れ合える機会を設けた。

- ・一つひとつの行事にねらいやテーマを持って取り組むことでチームワークや保育力を強める
- ・園内の整理整頓に取り組み、保育の在り方を見直し時間や人数などを工夫して、スムーズに準備などに取り組めるよう工夫する
- ・園内研修、園外研修の充実を図り、今まで大切にしてきた保育感や保育者の専門性を深められるよう工夫する

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育目標	A	園の目標について、全ての職員が共感・理解できるよう、ホームページ作成などを通して、浸透するようにしている。
2	保育計画	A	全体を通して計画をたてて、早めはやめに、保育案を立てることで、全体像が皆にもわかりやすくなった
3	保育環境	B	皆で使い方を工夫しながら過ごしている。収納などに課題あり。室内玩具も数や種類など課題あり。
4	安全・防災	A	月に1度の避難訓練を、みんなで輪番制を今年もとったことで、それぞれの意識が高まった。
5	チーム保育・同僚性	A	年齢・経験年数が異なる幅広い保育者集団の中で、それぞれが尊敬の念を持ちながら接することを大切にしていきたい。正規職員もパートタイム勤務の職員も連携を図り、一つの保育に取り組めるようなチームを目指している。
6	保育内容・方法	A	園外研修などを取り入れ、客観的にその年齢の子どもたちの育ちを捉え、他園を見ることで気づける自園の良さに気づけたように思う。園内研修後は、振り返りのための会議を開き、周りへ保育したものが問う時間も設け、自分の困りや悩みに対応してきた
7	保護者との関わり	A	連絡帳をアプリに移行することによって、写真などで日々の様子を伝え、可視化することを目標としている。様子が見えることで保護者にも安心してもらえたように思う
8	職務の遂行	A	職員全員で集まることは難しかったが、正規職員もパートタイム勤務の職員それぞれの会議を開いた。その際に、相互の連携も大切にし、それぞれのクラスの変化に気づくこともできた。

9	専門性の向上	B	自ら学びたいことへ、もう少し積極的に、動いて行けるような工夫が必要だと感じた。研修時間の確保など。
10	食育	A	給食の先生もチーム一丸となり、親子での保育で全員クッキングにも取り組むことができた。
11	子育て支援	A	月に一度の「未就園児教室」では、親子で触れ合う大切な時間を共に育んできた。2歳児は幼稚園への緩やかな移行を目指し、1歳児は母親支援を大切にできた。全職員で関わる時間も作る事ができた。
12	預かり保育	B	利用する子どもたちが増えて来たことで、どのような保育をしていけばいいか、皆で考える時間も増えている。暑さや雨の日など室内での過ごし方への工夫が必要。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	今年は皆で、全体をよくみて、早めに計画・話し合いを重ね、動いていくことを心がけた。一人ひとりが意識して行動に移せたので、どの行事も、動き出しがはやく十分な時間をかけることができた

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	行事について	計画を早めに立てることで、新しい取り組みにも皆で向かっていきやすくなることを感じたので、そこを引き続き取り組みたい
2	整理整頓について	取り組む前の話し合いを大切にして、全体像を意識しながら努めていきたい
3	研修について	保育者だけでなく、子どもたちや保護者も一緒にアップデートを重ねていきたい

6. 学校関係者評価委員会の評価

今年度新しくなった園庭には子ども心をくすぐる遊具や四季を感じることで遊べる庭木が増え、せんだんの木の下ではますます子どもたちの笑顔や笑い声が溢れている西原幼稚園です。そして子どもたちだけでなく保護者の心まで「ほ」とさせてもらえ優しくなれるスパシーロのような場所でした。

また今年度は園の方から声をかけていただき、応援団を中心にたくさんの行事にも参加させていただき保育に携わることができました。「とろん遊び」「11遊び」「たこ揚げ」など子どもたちの「やりたいこと」をお手伝いしながら先生方と一緒に大人の目線で子どもたちを見守り、でも時には童心に帰って思いきり子どもたちと本気で心から楽しむことができました。貴重な経験をさせていただいたことに心から感謝しています。

担任の先生を始め保育に関わる全ての先生方がひとりひとり子どもたちのことを思い気にかけてくださり思いやりの心で接し、全ての子どもたちに愛情を注ぎたくさんの人を笑顔にしてください。西原幼稚園が大好きです。本当にありがとうございました。これからも応援しています。

令和8年3月24日
PTA副会長
前田 豆蔵